

風の賞

現代的要素や独創性など、
新たな息吹を感じさせる景観づくり

協伸静塗株式会社 社屋

所在地 高岡市吉久
所有者 協伸静塗(株)
設計者 ミツデザイン設計事務所
施工者 射水建設興業(株)

伏木港の近くに立地する社屋は、水面に浮かぶ船を思わせるような曲線を成しており、港の景観にとけこんだ建物となっていることが評価されました。



伏木港にほど近い小矢部川の河口に位置し、水面に浮かぶ船を思わせるような社屋、これが協伸静塗株式会社です。

地域を大切にする会社の思いが、設計者の手により描かれ、施工者の技術により実現されました。社屋でありながら、存在感を強調することなく、港と融合するようなたたずまいを見せる姿は、対岸や新しくできる新伏木大橋（仮称）からの視界を意識するという細かな心配りをする会社であったからこそ、創り出されたものです。

環境へも視点が向けられ、ダストを一カ所に集中させる独自の空気環境システムなど、環境保全を十分に考えた装備となっています。

太陽が二上山にせずむ夕暮れ時、外壁に夕日が映り、日中とは違った色彩の船に変わります。朝日から夕日までの、ときの変化を感じとれます。



大規模行為の届出制度

富山県景観条例では、大規模な建築物の新築や土地の造成などの大規模行為は、地域の景観に大きな影響を及ぼすのみならず、地域の景観づくりをリードしていく役割も期待されていることから、行為の前にその内容を届けていただくこととなっています。

大規模行為を行う際には、「大規模行為の景観づくり基準」に適合するよう、地域に馴染むような色彩の使用や積極的な緑化など様々な方法で、景観づくりを進めてもらいます。

当初計画



変更後

